

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 7 部門第 3 区分
【発行日】平成 17 年 7 月 7 日 (2005.7.7)

【公表番号】特表 2004-521548 (P2004-521548A)
【公表日】平成 16 年 7 月 15 日 (2004.7.15)
【年通号数】公開・登録公報 2004-027
【出願番号】特願 2002-571743 (P2002-571743)
【国際特許分類第 7 版】
H 0 4 R 1/28
【F I】
H 0 4 R 1/28 3 1 0 Z

【手続補正書】
【提出日】平成 15 年 11 月 12 日 (2003.11.12)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

拡声器エンクロージャ構造 (1、2、8) にて区切られた拡声器チャンバ (7) と、
該拡声器チャンバ (7) に接続された反射ダクト (4) であって、該拡声器チャンバを
該拡声器エンクロージャの外側の空間に接続する反射ダクト (4) と、

該拡声器エンクロージャ構造 (1、2、8) に取り付けられた少なくとも 1 つの拡声器ユ
ニット (3) であって、該拡声器チャンバ (7) を区切る構造の一部分を形成する少なく
とも一つの拡声器ユニット (3) と、を備える低音用反射拡声器構造であって、

該拡声器エンクロージャ構造 (1、2、8) は、両端を該拡声器チャンバ (7) を形成する
ように閉じられた湾曲螺旋構造 (1) を有し、

該反射ダクト (4) は、螺旋構造 (1) の外周上に少なくとも部分的に形成されることを
特徴とする拡声器構造。

【請求項 2】

該湾曲螺旋構造 (1) が両端を切妻要素 (2、8) にて区切られることを特徴とする請求
項 1 記載の拡声器構造。

【請求項 3】

該湾曲螺旋構造 (1) がカースト構造の部分内に (一部として) 形成されることを特徴
とする請求項 1 記載の拡声器構造。

【請求項 4】

該エンクロージャ構造が、全体が該螺旋構造 (1) の外周上に配置された反射ダクト (4)
を備えることを特徴とする請求項 1 記載の拡声器構造。

【請求項 5】

該反射ダクト (4) が該螺旋構造 (1) の幅と等しい幅を有することを特徴とする請求項
1、2、3、或いは 4 記載の拡声器構造。

【請求項 6】

該切妻要素 (2、8) が平行に配置されることを特徴とする請求項 1、2、3、4、或い
は 5 記載の拡声器構造。

【請求項 7】

該切妻要素 (2、8) が該螺旋構造 (1) の縦軸に対して垂直に配置されることを特徴と
する請求項 1、2、3、4、5 或いは 6 記載の拡声器構造。

【請求項 8】

該螺旋構造（１）が少なくとも一つが損失層から成る積層構造から製造されることを特徴とする請求項 1、2、3、4、5、6、或いは 7 記載の拡声器構造。

【請求項 9】

拡声器エンクロージャ構造（1、2、8）を用いて拡声器チャンバ（7）を形成するステップと、

該拡声器チャンバ（7）に、該拡声器チャンバ（7）を該拡声器エンクロージャの外側の空間に接続する反射ダクト（4）を接続するステップと、

該拡声器エンクロージャ構造（1、2、8）上に、該拡声器チャンバ（7）を区切る構造の一部分を形成する少なくとも一つの拡声器ユニット（3）を取り付けるステップと、を含む低音用反射拡声器構造を製造する方法であって、

該拡声器エンクロージャ構造（1、2、8）は、両端を該拡声器チャンバ（7）を形成するように閉じられた湾曲螺旋構造（1）から形成され、

該反射ダクト（4）は、螺旋構造（1）の外周上に少なくとも部分的に形成されることを特徴とする方法。

【請求項 10】

該湾曲螺旋構造（1）が両端を切妻要素（2、8）にて閉じられることを特徴とする請求項 9 記載の方法。

【請求項 11】

該湾曲螺旋構造（1）がカーブ構造の部分内に（一部として）形成されることを特徴とする請求項 9 記載の拡声器構造。

【請求項 12】

該反射ダクト（4）の全体が該螺旋構造（1）の外周に配置されることを特徴とする請求項 9、10、或いは 11 記載の方法。

【請求項 13】

該反射ダクト（4）が該螺旋構造（1）の幅と等しい幅を有するように設計されることを特徴とする請求項 9、10、11、或いは 12 記載の方法。

【請求項 14】

該切妻要素（2、8）が平行に配置されることを特徴とする請求項 9、10、11、12、或いは 13 記載の方法。

【請求項 15】

該切妻要素（2、8）が該螺旋構造（1）の縦軸に対して垂直に配置されることを特徴とする請求項 9、10、11、12、13 或いは 14 記載の方法。

【請求項 16】

該螺旋構造（1）が少なくとも一つが損失層から成る積層構造から製造されることを特徴とする請求項 9 から 15 のいずれかに記載の方法。